

第28回日本体力医学会東北地方会のご案内

1. 日 時：2019年6月7日(金) (幹事会, 懇親会)
8日(土) (学術大会)
2. 会 場：幹 事 会 グリーンパレス福島3F「櫻」
福島県福島市太田町13番53号
JR福島駅東口徒歩約2分
学術集会 コラッセふくしま (401会議室)
福島県福島市三河南町1番20号
JR福島駅西口徒歩約5分
3. 日 程：
 - 6月7日(金) グリーンパレス福島
 - 18:30~19:30 幹事会
 - 19:30~21:00 懇親会
 - 6月8日(土) コラッセふくしま
 - 8:30~ 受 付
 - 9:10~11:10 一般演題発表
 - *午前中の時間は演題数により変更の可能性あり
 - 11:10~11:30 総 会
 - 13:00~14:30 公開講座①
齋田良知 (いわきFC チームDr./順天堂大学附属順天堂病院)
「個の特性に応じたトレーニング～遺伝子解析をトレーニングに活かす～」
 - 14:40~15:25 公開講座②
久保倉里美 (新潟アルビレックスランニングクラブ)
「東京オリンピック・パラリンピック開催にむけたアスリートからのメッセージ」
4. 一般演題発表
 - (1) 参加資格は、①会員であること、②非会員の場合は発表者もしくは共同研究者であること
 - (2) 時間は、9時10分から11時10分まで (予定)
 - (3) 参加費は無料。ただし、非会員の場合は、「体力科学」への掲載料として1頁当たり3,000円を著者が負担するとなっております。詳しくは、7をご確認ください。
5. 公開講座 (一般公開・参加費無料)
 - 公開講座①
齋田良知 (いわきFC チームDr./順天堂大学附属順天堂病院)
「個の特性に応じたトレーニング～遺伝子解析をトレーニングに活かす～」
 - 公開講座②
久保倉里美 (新潟アルビレックスランニングクラブ)
「東京オリンピック・パラリンピック開催にむけたアスリートからのメッセージ」
 - *公開講座は、一般市民の方も無料でご参加いただけます。
6. 各種資格の単位認定について (申請中)
 - (1) 日本医師会認定健康スポーツ医制度健康スポーツ医再研修 (予定)
公開講座を受講することにより、2単位が認定されます。
費用 2,000円
 - (2) 健康運動指導士・健康運動実践指導者 (健康・体力づくり事業財団)
- この学会大会全体 (午前・午後) は、健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位として講義2単位が認められます。(認定番号196458)
費用 2,000円
7. 「体力科学」抄録原稿要領
 - 一般演題発表の方は、「体力科学」抄録原稿 (体力科学掲載) を大会事務局までお送り下さい。なお、発表者、共同演者ともに日本体力医学会員でなくても支障はありません。ただし、「体力科学」への抄録掲載は「体力科学投稿規定」の「G. 掲載料及び別刷り料」により、「筆頭著者が非会員」の場合、1頁当たり3,000円を著者が負担するとなっておりますことにご了解下さい。
 - 公開講座の方も抄録原稿 (体力科学掲載) を大会事務局までお送り願います。
 - 「体力科学」抄録原稿 (2019年6月7日(金) 必着)
 - ・発表者は「体力科学」に掲載する抄録原稿をMicrosoft Wordで作成、大会当日までに事務局にメール添付願います。
 - ・抄録原稿は、体力科学投稿規定 (E. 地方会の抄録) により、原稿は、一編900字内で表題、著者名、所属、本文を和文で記してください。(体力科学参照)
8. 演題発表について
 - (1) 一般演題の発表時間は、15分 (発表10分、質疑応答5分) の予定です。
 - (2) 発表機器は液晶プロジェクターとします (スライド不可)。使用パソコンを事務局で準備いたします (OS: Windows7以降、アプリケーションソフト: Power Point2013)。発表時のパソコン操作は各自でお願い致します。
Power Pointのファイルは6月3日(月)までに事務局にメールでお送り下さい。事前のご送付が難しい場合は、当日会場にてUSBファイルを保存、受け付けます。メールでお送り下さった方も、念のため当日、USBファイルをお持ち下さい。パソコンに保存したファイルは大会終了後、消去致します。
9. 懇親会のご案内

大会前日に懇親会を開催いたしますので、ふるってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

日時：2019年6月7日(金) 19:30~21:00
場所：グリーンパレス福島3F「櫻」
福島県福島市太田町13番53号
(JR福島駅東口徒歩約2分)
会費：6,000円 (当日、受付にてお支払い下さい)
10. 大会事務局

〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地
福島大学人間発達文化学類
日本体力医学会東北地方会第28回大会事務局
事務局長 杉浦弘一
電話 024-548-8216 (研究室)
E-mail: ksugiura@educ.fukushima-u.ac.jp

第1回日本体力医学会北九州地方会のご案内

日 時：2019年8月7日(10:00-17:35) *受付9:30
 会 場：九州大学椎木講堂(1階)大会議室
 学 会 長：熊谷秋三(九州大学キャンパスライフ・健康
 支援センター)
 事務局長：増本賢治(九州大学大学院人間環境学研究院)

【プログラム】

受 付：9:30-10:00

1. 開会式：10:00-10:20

会長挨拶：10:00-10:10

北九州地方会代表挨拶：10:10-10:20

2. 大会プログラム

1) 教育講演

セッション①(10:20-11:50)

座長：中野裕史(中村学園大学教育学部)

教育講演①(10:20-10:50)

辰巳隆一(九州大学大学院農学研究院)

「筋幹細胞の基礎科学とその食品機能学的制御
 の展望」

教育講演②(10:50-11:20)

川中健太郎(福岡大学スポーツ科学部)

「運動・骨格筋・糖代謝」

教育講演③(11:20-11:50)

村木里志(九州大学芸術工学研究院)

「運動生理からみた身体動作を拡張するテクノ
 ロジー」

昼食(11:50-13:00)

セッション②(13:00-14:00)

座長：道下竜馬(福岡大学スポーツ科学部)

教育講演④(13:00-13:30)

西田裕一郎(佐賀大学医学部)

「日本人を対象とした身体活動のゲノム疫学研究：個別化予防の構築への貢献を目指して」

教育講演⑤(13:30-14:00)

岸本裕歩(九州大学基幹教育院)

「糸島フレイル研究のコホート特性および研究
 の展開」

2) 特別講演(14:00-14:45)

座長：熊谷秋三(九州大学キャンパスライフ・健
 康支援センター)

澤田亨(早稲田大学スポーツ科学学術院)

「日本における運動疫学研究の成果と課題」

3) 会長講演(14:45-15:30)

座長：小池城司(福岡大学西新病院)

熊谷秋三(九州大学キャンパスライフ・健康支援
 センター)

「身体活動疫学における健康維持に必要な要因と
 は何か？」

休憩(15:30-15:50)

4) シンポジウム(15:50-17:30)

座長：岸本裕歩(九州大学基幹教育院)

「超高齢社会における運動の意義と役割」

檜崎兼司(福岡工業大学環境社会学部)

「高齢者の体力および身体活動と要介護認定との
 関連」

Hyuntae Park(東亜大学健康科学部)

「高齢者の認知機能改善への運動介入の影響」

野藤悠(東京都健康長寿医療センター研究所)

「フレイルを先送りする社会システムの開発」

5) 閉会挨拶(17:30-17:35)

熊谷秋三(九州大学キャンパスライフ・健康支援
 センター)

第30回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内（第3報）

日本体力医学会学術委員会主催の本研修会は基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。実習は救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、傷害予防・機能回復の筋力トレーニングおよびテーピングなどです。アスリートを対象とした研修内容ではありませんのでご注意ください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号を受けることができます。

称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会非会員の方も参加できます。また、他の研修会を受講し、資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

尚、実習を行う関係上、各年度の参加人数に制限がありますことをご了承下さい。

平成30年11月10日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

中里浩一 岡本孝信 須永美歌子 進藤大典 太田 眞 蕪木智子 清水智美 宇高 潤

1. 会 場

基礎コース（6月29日(土)、30日(日)）：日本体育大学東京世田谷キャンパス2206教室

応用コース（8月2日(金)、3日(土)）：日本体育大学東京世田谷キャンパス2206教室

2. 日時および研修内容

(I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学（神経・筋、呼吸、循環、代謝など）や栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。

2019年6月29日(土)

9：00～10：40 オリエンテーション、有疾患者に対する運動療法の考え方（含COPD、腎症）

10：40～10：50 休憩

10：50～11：50 高次脳機能と運動 - 認知症予防のための運動など -

11：50～12：50 筋骨格系組織と運動 - 寝たきり予防のための運動など -

12：50～13：50 昼食・休憩

13：50～14：50 循環と運動

14：50～15：50 幼児期および成長期における運動指導について

15：50～16：00 休憩

16：00～17：00 運動、栄養、生活習慣病予防について

懇親会（会費3000円、参加自由）

2019年6月30日(日)

9：00～10：30 運動処方の基礎

10：30～10：40 休憩

10：40～12：10 運動器疾患に対する運動療法

12：10～13：10 休憩

13：10～14：40 心血管系疾患の運動処方および服薬者の運動時注意点

14：40～14：50 休憩

14：50～16：20 メタボリックシンドロームに対する運動療法

(II) 応用コース

基本的な運動指導の実際について学びます。実習では自転車エルゴメータによる運動負荷試験をもとに運動処方を作成します。また、呼吸機能検査、体組成測定法、テーピングや筋力トレーニング実習も行います。

2019年8月2日(金)

- 9:00~12:00 運動処方実習 (a) (トレッドミルおよび自転車エルゴメータを利用した運動負荷試験, 心電図記録, 呼吸機能検査, 乳酸測定など)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 運動処方実習 (b), 尿検査, 体組成測定, 筋力/筋パワー測定など

2019年8月3日(土)

- 9:00~12:00 運動処方の実際 (前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被験者の運動処方を作成し, 実施する)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 スポーツ傷害予防実習 (テーピング, 筋力/筋パワートレーニング, 救命救急実習)

3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験は2019年8月4日(日) 10:00~12:00に日本体育大学東京世田谷キャンパスで行います。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号を取得することができます。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集(正解/解説付)」(税込:2,000円)がありますので、是非ご利用下さい。下記の「9. 申込書送付先および問い合わせ先」へお申込み下さい。

4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し、それに準じて講義が行われます。また、プレゼンテーション資料も必要に応じて当日配布致します。

5. 受講料

受講料は(I)基礎コース、(II)応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース(基礎コース、応用コースの各コースを単独受講)を受講する場合はそれぞれ25,000円(2日間コース)です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば、単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円(基礎・応用コース)と致します。ただし学生証の呈示が必要です。

6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。

定員は各コース40名です。

7. その他

健康運動指導士、健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位(60分1単位)について、基礎コースでは講義11.5単位、応用コースでは講義0.3単位および実習12.7単位がそれぞれ認定される予定です(2019年4月申請予定)。ま

た、THP（トータル・ヘルスプロモーション・プラン）のレベルアップ研修における基礎コース5単位、応用コース5単位が認定される予定です（2019年4月申請予定）。

8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので、要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込み下さい。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承下さい。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

※本学会ホームページの“お知らせ”にある、「スポーツ医学研修会」および「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」を確認し、手続きの参考にして下さい。

9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13ユニゾ小石川アーバンビル4F
 一般社団法人 学会支援機構内
 日本体力医学会スポーツ医学研修会 係
 電話：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012
 E-mail：jspfsm@asas-mail.jp

第30回日本体力医学会スポーツ医学研修会仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申し込みます。（該当する□にレ印をつけて下さい。）

第30回 基礎コース

第30回 応用コース

試 験

氏 名 _____

連絡先 〒 _____

TEL： _____ E-Mail： _____

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団「第31回助成研究発表会」および「ソルト・サイエンス・シンポジウム2019」の開催について

○第31回助成研究発表会

- ・開催期日 2019年7月25日(木)
- ・開催場所 都市センターホテル
(東京都千代田区平河町)
- ・参加料は無料. 参加希望者は財団にファックス・メール等で事前に申込.
- ・詳細については, 財団のウェブサイトをご覧ください.

○ソルト・サイエンス シンポジウム2019

1. 開催概要
 - 1) 開催趣旨
塩に関する学術・その他の情報の普及と啓発
 - 2) 開催日時
2019年10月17日(木) 13:00~16:50
 - 3) 開催場所
品川区立総合区民会館(きゅりあん)
1階小ホール
 - 4) 参加料 無 料
参加の申込みはファックスまたはメール等で事前に申込

2. テーマと講演内容

- 1) テーマ 海水・塩と温泉
- 2) 講演内容
 - (1) 「高塩分温泉の成り立ち」(13:10~14:10)
講演者: 大沢信二 京都大学大学院教授
 - (2) 「海底温泉で形成される海底熱水鉱床」
(14:20~15:20)
講演者: 木川栄一
海洋研究開発機構海底資源研究開発センター長
 - (3) 「塩化物泉(食塩泉)の医学的効果」
(15:40~16:40)
講演者: 前田真治
国際医療福祉大学大学院教授

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団
(<https://www.saltscience.or.jp>)
Fax: 03-3497-5712 Tel: 03-3497-5711
E-mail: saltscience@saltscience.or.jp

編 集 後 記

大河ドラマ「いだてん」. 皆さま、ご覧になられていますでしょうか。幕末期などを描いたオーソドックスな大河作品とはやや雰囲気が異なりますが、嘉納治五郎先生はじめ、「明治」や「大正」の時代を生きた体育人たちが人生をかけて日本の体育発展に奮闘する姿が描かれており、現代に生きる体育人として学ぶところの多い作品のように感じています。オリンピックに出たこともその予定もない私には、重圧と戦う五輪選手の気持ちは分かりようもないのですが、日本人として初めてオリンピックに出場し、欧米との圧倒的な国力差、体格差を感じながら戦った金栗選手らの気持ちを想像しながら鑑賞しております。物語はこれから「昭和」の東京オリンピック・パラリンピック開催へと進むようです。

さて、大河ドラマに触れながら「明治」、「大正」、「昭和」の元号を並べたことには理由があります。時代は「平成」から「令和」へと移り、今回の第68巻3号は令和初号です。折しも、来年には再度、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。昭和39年の東京五輪は戦後の日本が経済復興を果たした象徴的意味合いがありました。本誌「体力科学」の創刊が五輪開催へと向かう昭和25年。経済発展に伴う労働力の増大が求められたこの時期に、国民の「体力」が重要視されたことも本誌創刊の理由の一つであったようです。創刊号には「労働と体力」と題された論文も掲載されています。そして現在、

日本は経済成長期とは異なる形で労働力が求められています。日本が課題先進国とされる「少子高齢化・人口減少」の問題です。2度目の東京五輪ではありますが、国内・国際情勢は1度目とは劇的に異なります。そういった意味では、今回の東京大会にはポスト経済成長時代の在り方を世界に提案する意味合いも含まれそうです。「体力科学」にも、経済成長期とは異なる形での貢献が求められているのかもしれませんが。

さて、本号では原著4編、資料1編、事例報告1編をお届けしました。これらの論文は投稿から受理に至るまで、短くて2ヵ月、長い場合は10ヵ月程を要しております。著者、担当編集者、査読者、事務局担当者、編集委員長、副委員長と多くの人に関わり、それぞれがそれぞれの責務を果たして1編の論文が掲載に至ります。無論、論文作成の前には各著者の膨大な時間が研究活動に費やされています。このような作業が創刊から連続と70年間続けられてきたことを改めて考えますと、現代に生きる体育人として身が引き締まる想いです。諸先輩方に負けない熱い想いで後世に残せる仕事をしたいですね。皆さまの仕事への情熱を表現する場としてぜひ本誌をご活用ください。

松尾 知明

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.68, No.3

体 力 科 学 第 68 巻 第 3 号

令和元年5月25日 印刷
令和元年6月1日 発行

編集兼発行者
発行所

編集事務局

印刷所

田中喜代次
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社